

茨城大学大学院農学研究科（修士課程）

教育目的

農学研究科修士課程では、21世紀に求められる環境と調和した人類の持続的発展のために、農学を基盤とした食料・生命・環境に関する幅広い基礎知識と専攻分野における高度な専門知識・技術及び研究開発能力を備え、地域・国際社会で自立的に問題解決ができる力を持った人材の養成を目的としています。

アドミッションポリシー（入学者受入れ方針）

農学研究科修士課程では、農学あるいは関連する分野における基礎学力を有し、明確な目的意識と旺盛な探求心を持って食料・生命・環境に係わる専門知識・技術の学習と研究を進めようとする意欲を持った学生を求めています。

カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施方針）

農学研究科修士課程では、学士課程での教育によって得た成果を発展させ、農学研究に関する幅広い基礎・専門知識、研究手法、科学英語使用能力等を身につけさせるとともに、それらを活用できる広い視野と応用力を持った人材を育てるという観点から、分野横断的に学修するカリキュラムを編成・実施している。更に研究の推進能力、研究成果の論理的説明能力、学術研究における倫理観を持ち、自ら課題を発見し解決する能力を有する高度技術者、研究者を育てるという観点から、各専攻は分野の特性を踏まえた課題研究、ゼミナール、演習、実験等の実践的な教育を取り入れたカリキュラムを実施している。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）*

農学研究科修士課程では、農学を基盤とした食料・生命・環境に関する分野で高度専門職業人として活躍するのに必要な基礎・専門知識、技術・研究手法、問題解決能力等を身につけるという教育目標に照らして、専攻科目等の修得及び研究成果が基準を満たすことを判定するために、以下の通り修了（学位取得）要件を定めている。

- 2年以上在学して研究指導を受けること。なお、学修・研究について著しい進展が認められる者については、在学期間を短縮して修士課程を修了することができる。
- カリキュラムポリシーに沿って設定した修士課程プログラムが定める授業科目を履修して、基準となる単位数（30単位）以上を修得すること。
- 修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

*ディプロマポリシーとは、学位授与の方針であり、卒業（修了）までの学びのロードマップと位置づけられている。